

広報

まほく

9

No.71

2011 September 平成23年

特集

・6月議会定例会

魚飛溪 奇岩と清流

平成23年6月

議会定例会一般質問



※議会定例会の様子は定例会実施月に、前回の定例会の一般質問の様様をお知らせしますのでご了承ください。

6月議会定例会は、6月7日から17日までの11日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、人事案件や条例改正及び補正予算案等の町長提出議案7件、報告4件を審議しました。

7日の開会日には、議案の提案説明及び内容説明があり、人事案2件を答申し、議案に対する質疑を行い、議案を各常任委員会に付託することを決定しました。

14日、15日は、13人の議員が一般質問を行い、最終日の17日には、各常任委員長から付託された議案の審査経過と結果の報告の後、質疑、討論が行われ、上程議案5件を原案どおり可決し閉会しました。

太田哲生 議員

防災対策について

問

防災対策の3項目について質問します。

①防災施設の管理に要する経費を自治会等に補助することについてですが、地震、津波に対する防災事業は、非常に長期にわたるものと思いますし、施設の維持管理を継続的にする必要があり、大規模な施設は、町で維持管理をしなければなりません、小規模の施設は、自治会、区、自主防災会等に補助金を交付し、施設を維持管理したほうが効率的だと考えますし、住民の防災意識の向上に役立つと思います。防災対策補助金の交付について、町長の考えをお聞かせください。

②防災意識の向上についてですが、東日本大震災の際、海岸部の被災者で、地震直後に避難を始めた人が6割前後にとどまっていたように報道されています。紀北町でも津波警報が発令されたときに、避難を始めた人は非常に少なく、海岸で津波の来襲を見ていた人が多数いたと聞いています。津波被害から命を守るには、1秒でも早く、1メートルでも高いところに避難することです。本町においても、このことを徹底するよう防災研修会や防災訓練を実施し、住民の防災意識の向上を図ることが必要です。その施策について町長の考えをお聞かせください。

③避難計画の見直しについてですが、東日本大震災級の津波が来襲すれば、海岸部の集落や役場庁舎も壊滅する恐れがあります。すでに避難計画の見直しに着手していると思いますが、早い時期に公表をお願いします。また、災害時に自動車避難すると言われていますが、高齢者や障がいを持つ方の避難には、自動車も必要だと思しますので、その車を優先させるための検討をお願いします。それと避難計画の盲点であったと思いますが、執務中の役場職員の避難計画が不十分で、役場庁舎から遠くの高台に全員が避難することを想定していませんでした。早急に職員の避難マニュアルを作成し、訓練を行うとともに、住民にも公表すべきだと思いますが、町長の考えをお聞かせください。

答

町長 ①避難路等の維持管理については、相賀区をはじめとする多くの自治会、区、自主防災会の方々が、自主的にボランティアで避難路整備等を実施いただいております、町として非常にありがたい感謝するとともに、地域の持つ防災力に対して心強く感じている次第です。6月議会に、避難路の応急措置としての土砂の撤収、清掃、避難路等の修繕のための予算を計上しています。ご指摘の自治会等に町補助金を交付し、事業を実施することについては、事業の迅速化、事業効率等を考えると非常に魅力的な制度だと思しますので、前向きに検討します。

平野隆久 議員

今、紀北町に求められる防災対策について

問

紀北町にとって重要な防災対策は、町行政

各地区、家庭、教育行政、それぞれが、それぞれの立場で知恵を出し合い、可能な限りできる災害対策をして、これらが連携することにより発揮される防災対策が、今、一番必要なことだと思います。

③避難計画の見直しは、今まで以上に災害別、災害規模別に避難することの重要性を盛り込んだものを考えています。また、自動車での避難は、一般的に災害時は、道路の寸断、交通事故等により、車で避難することは混乱を招くと言われていません。高齢者等の災害時要援護者支援対策は、改めていろいろな角度から検討する必要があると考えます。職員に対しては、毎年、職員災害対応マニュアルを作成し、配布しています。今回の大震災を考慮した公務執行中の避難対応は作成していませんが、大災害時には職員が避難することが大切であることを重視し、早急に調査、研究を行います。

聞きます。

その返事をいつまでにするかお聞きます。

優先順位をつけて整備していき

は、矢口神社を通って矢口浦上

区に6カ所あります。点検につ

店舗への防災無線設置には、4万円程度の実費がかかります。費用の補助について検討していただいていると思えますがいかがですか。

たいと思います。また、民間施設への要請は、まだ行っていません。

は、矢口神社を通って矢口浦上

次に、津波被害が予想される幼稚園を含めた各学校の防災対策をどのように進めているのか、教育長に答弁を求めます。

防災無線については、生産が中止されており、在庫が少ない状態で、新たな形での個別受信機をどうするかという課題もあり、そういった中で、店舗や工場等の対応も含め、今後考えていきたいと思えます。

は、矢口神社を通って矢口浦上

答

町長 行政、自主防災会、教育行政、家庭の

もとの避難計画を見直していま

は、矢口神社を通って矢口浦上

公園の安全性について

問

遊具を備えた児童公園、都市公園が両区に

防災体制の確立は、抜本的に見直すことが急務と認識しますが、国、県の基礎データの完成後となります。まずできることから始めるということで、自主防災会の皆様に避難箇所等の洗い出しをお願いしました。タイムスケジュールについては、9月定例会までに、ある程度目処をつけていきたいと考えています。

園裏にある久賀坂へ、仮校舎として利用している紀北中学校は、複数の避難場所を考慮しており、その1つとして秋葉山に避難します。西小学校についても、複数の避難場所を考慮しており、その1つとして岡ノ上へ、海野小学校は、プール脇の避難路から山の高台へ、三浦小学校は、寺の山の上へ、矢口小学校

は、矢口神社を通って矢口浦上

答

町長 児童公園は海山区に6カ所、紀伊長島

いては、海山区が社会福祉協議会に管理委託しており、紀伊長島区は職員が点検しています。公園点検実績表は、紀伊長島区では作成はしていません。

平成23年3月議会 での町長答弁に ついて

問

①老人ホームの運営
について、公営か、民営か、まだ結論が出せない状況です。プロジェクトチームを平成23年度に立ち上げるとの答弁でしたが、その状況をお聞きます。

②住所表記を簡素化するためには、地域協議会を終了しなければならぬので、協議会委員から話が出たときに検討することとした。2月23日の協議会で意見が出されたことですが、今後、協議会で検討するということよろしいですか。

答

町長 ①3月11日以降、防災のほうに時間がかかってしまい、現在のところプロジェクトは開いていませんが、この定例会終了後に開く

予定にしています。

②地域協議会については、その会議の最後のほうに、委員の皆様から話が出たということ、今後、その中で委員の皆様により議論していただくという形を考えています。

家崎仁行 議員

3・11東日本大震災を教訓として、この紀北町から1人の犠牲者も出さないために、今、何をすべきか

東日本大震災は、マグニチュード9.0の巨大地震が発生し、最大38メートルの大津波が押し寄せるとい

問

う、誰も想定できなかったものであったと言われています。紀北町でも、移転計画のある本庁舎予定地は巨大地震、大津波に

対処できるのか、現在の消防署、幼稚園、小中学校、避難道路、避難場所等はこのままで良いのか。町長は、5月13日から

15日の日程で、気仙沼市と陸前高田市の被災地を視察され、壊滅状態にある市街地や津波で打ち上げられた漁船、手つかずのままの港の現実を確認されてい

ると思います。今回の大震災を教訓に、この紀北町から1人の犠牲者も出さないための防災施策の取り組みについて、強い決意を持ったと思います。自分の命は自分で守る「自助」。皆で力をあわせて助け合い、自分たちの地域を守る「共助」。しかし、自助、共助には、おのずと限界があります。そこで町民の生命と財産を守るための「公助」

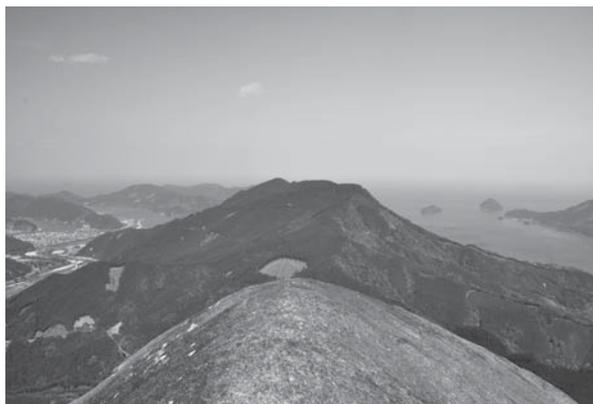
が大事になってくると思います。今回、被災地を実際を目で視察され、今、この紀北町で何をすべきか、何をしなければならぬ

か、町長の防災に対する基本的な構想、計画等をお尋ねします。

答

町長 本町でも近い将来起こるであろう東海、東南海、南海地震の発生と、それらに伴う津波来襲に対する防災対策が急務です。基本的には、国、県に被害想定等の基礎デー

タを作成していただき、その



置き、避難路整備を優先的に推進していきます。また、大震災以降、住民の皆様から、海抜の問い合わせが多く、町内の目立つところにシール等で海抜表示をしていきたいと考えています。また、緊急雇用創出事業で採用する方々に避難路の点検等も行っていたいただき、崩壊箇所等が見つかれば、速やかに改修していきたいと思えます。

大震災後、自分たちでできることは、自分たちですということ、自助の理念により、自治会、区、自主防災会、有志の方等により、各地区において、自主的かつボランティアとして、避難路整備等を行っていただいております。改めてお礼申し上げます。

玉津充 議員

社会情勢の変化に伴う行政対応について

問 大震災により社会情勢が大きく変化しています。本町の行政の対応につい

てお聞きします。

①震災前に組まれた今年度予算、次年度、中長期の事業計画等について、社会情勢の変化に対応すべく再検討や見直しが必要か、また、今後なされるのか、町長の考えをお伺いします。
②社会情勢として、エネルギー対策や全庁的な節電が求められています。行政管轄の節電対策や町民の皆様への呼びかけをどうするかお聞きします。

答

町長 ①東日本大震災を強く受け止め、防災

対策を早急に進める強い意志を持ち、住民の生命を守るため、事業実施の可能なところから避難路等を整備するための補正予算を6月議会に計上しています。また、9月議会以降も優先順位をつけて予算計上する所存です。さらに、継続して来年度以降の計画見直しの検討にも着手していきたいと思えます。また、3月定例会で予算として上げたものについての変更はありません。中長期的な事業の見直しは、紀北町総合計画の見直しですが、今年度に予定されていますので、大震災防災対策等を見直してい

きたいと思えます。

②電気使用量の削減では、始業前、昼休時間の消灯、エアコンの使用期間・温度設定等を実施し、庁舎施設に電力デマンド監視システムを導入して使用電力を抑える措置をとっています。引き続き、職員一人ひとりが再度自覚を持ち、節電に取り組んでいきたいと思っています。また、町民の皆様には、6月2日から8月31日まで、行政放送の文字放送で節電への取り組みをお願いしています。

地震・津波対策の取り組みについて

問

被災地の現状を目の当たりにして、本町で今一番の緊急課題は、東海、東南海、南海地震とそれによる津波です。この取り組みについてお伺いします。

①各自自主防災会から201件の要望が提出されていますが、この要望事項に対する今後の進め方についてお聞きします。
②要援護者の避難方法について、町としてどのような避難対策を考えているかお聞かせください。

③庁舎や関連施設、町営住宅等の

町営施設の避難対策について、どのようにお考えですか。
④民家の高台にある、ため池、ダム、上水道貯水タンクの耐震について、安全確認はしていますか。
⑤津波避難場所として、高速道路を活用すべきだと思います。三浦、便ノ山地区では非常時に緊急車両が高速道路に上られるよう設計されています。他の地区でも同様にすべきでないかと思えますが、町長の考えをお聞きます。

答

町長 ①自主防災会に

避難路整備等、緊急性の高いところの整備要望の提出をお願いし、201件の要望がありました。緊急性が高く、地権者の同意を得ている避難路等は、各自自主防災会長等の聞き取り、現地確認を終えて、優先順位を決め、できることから整備していきたいと考えています。
②災害時、要援護者支援対策は、本町の重要課題の1つと考えています。平成19年に手上げ方式により、災害時要援護者登録制度を設け、災害弱者対象者名簿

を作成し、活用してきたところ

です。これらを活用し、ご家族、民生委員、自主防災会、区あるいは自治会、消防団、消防署等と連携をしていきたいと考えています。
③津波来襲時の緊急避難場所として、指定している町営施設もありませんが、今回の大震災により、現状のまま安全が確保できるか、早急に再検証する必要があります。しかし、耐震が図られた本庁や総合支所の庁舎、町民センター等の屋上は、緊急時の避難場所として新たに位置づけることも可能なことから、

は、同レベルで設計されたダム

が、平成7年の阪神淡路大震災や平成16年の新潟中越地震で、構造的な問題は生じなかったと聞いています。また、水道配水池については、耐震診断を実施し、一部耐震補強工事等が必要との結果が出ていますので、計画的に対策を講じていきたいと考えています。
⑤高速道路敷地を避難場所として活用できるように、5月23日に国土交通省紀勢国道事務所に要望してきました。要望箇所は、紀伊長島区4カ所、海山区3カ所です。

中本衛議員

災害発生時の対応について

問

①紀北防災マップに災害学習情報が住民のマニュアルとして示されていますが、具体的な活動・取り組み等が示されていないように思います。一般住民や組長、自主防災会、自治会、区の役員等が、

それぞれどのような活動や対応をとればいいのか、災害発生時の対応マニュアルを作成し、周知を図る必要があると思いますが、町長の考えをお伺いします。

②被災者支援システムは、住民基本台帳のデータと家屋台帳のデータを統合し、そこに被災発生後に調査した住宅の被災状況を追加することで完成する被災台帳をもとに、避難や被災状況等の個人データを一元的に管理し、罹災証明の発行はもとより、各種支援制度や義援金の交付にも対応し、被災者支援の総合的な管理等が行えます。このシステムを平時に導入、運用していくことが極めて有益だと考えますが、町長の考えをお伺いします。

答

町長 ①災害発生時の対応マニュアルは、被害を最小限に食い止めるためにも効果的であると考えます。地震が発生したらどうすればいいか、揺れがおさまったらどうすればいいか、火災が起こったらどうすればいいか、それぞれに合致する対応の仕方があると考えますので、基本的なマニュアル

を作成し、それを基に訓練することにより、的確に対応できると考えています。町としても、改めて情報収集するとともに調査研究し、自主防災会に働きかけを行いながら、それらの対策に取り組んでいきたいと思っています。

②被災者支援システムは、阪神淡路大震災の際、西宮市役所が被災者に対する行政サービスを円滑に提供するために開発したと聞いています。その後、(財)地方自治センターが管理を引き継ぎ、導入を希望する地方公共団体に對して無償で提供しています。災害発生時には、被災者に対する行政サービスとして、数多くの業務が発生すると認識しており、従来これらの業務は紙ベースで処理されることも多かったことから、円滑な行政サービスを提供するためには、電子化が必要だと思っています。導入に向けて積極的に調査研究したいと思っています。

省エネ対策について

問

①緑のカーテンは省エネ効果だけでなく、植物を育てる楽しみや自家製の食材を使う料理の楽しみまで広がります。家庭の趣味にあつた緑のカーテンの取り組みに、種や苗等の配布ができないかお伺いします。

②最近、LEDが注目されています。LEDは、白熱電球や蛍光灯と比べ、消費電力が非常に少なく、寿命が非常に長いと言われています。公共施設の照明を省エネ効果の高いLEDに取り替えることができないかお伺いします。また、LEDの一般家庭への普及に当たっては、コスト面が大きな問題となつてい

ます。一般家庭の電力使用量の削減、温室効果ガスの排出量削減のために、LED照明器具購入費の一部助成ができないかお伺いします。

答

町長 ①平成21年から役場本庁の一部と町民センターの一部にプランターを置き、緑のカーテンを実施しています。平成21年度は、アサガオの種がたくさん取れ、平成22年3月に本庁と支所で種の無料配布をしました。平成22年度は、収穫したゴーヤ、キュウリ

等を希望者に持ち帰っていただきました。平成23年度は、本庁舎南側一面、教育委員会、町民センターの一部にアサガオ、ゴーヤ等を植えています。来年は、アサガオやゴーヤの種を無料配布等して、家庭に緑のカーテンを普及していきたいと考えています。

②現在、公共施設の照明は、ほとんど蛍光灯を使用しています。これをLED照明に切り替えるには、器具から変える必要があります。財政面からすぐに対応できないと考えるとともに、LEDの光は拡散性が悪く、使用する場所や用途等を考慮する必要もあると考えます。また、助成金については、県内では多気町が一般世帯に対して実施しています。今後、他市町の状況や町の財政状況を考慮し、調査研究していきたいと考えています。

汐見地区の浸水対策について

問

赤松の鼻の浸水対策の現状と今後の取り組みについてお伺いいたします。

答

町長 船津川河川改修により、堤防の嵩上工事が行われましたが、まだ堤防の低いところが1カ所あります。洪水時の地元の不安を解消するため、平成23年度、尾鷲建設事務所と紀北町が協力し、対策工法の概略案を作成するとともに、地元と調整を図っていく予定となっています。

松永征也議員

町財政の見通しを問う

問

本町の財政状況は、人口が著しく減少していく中であつて、ここ数年、長期の借入金が増加していることに強い懸念を抱くところであり、本町の一般会計における借入金は、平成23年度末で122億5,000万円に達する見込みで、町民1人当たりの額は65万円に達する見込みです。

合併後10年を過ぎると合併算定替え等の特例措置の期間が終

行政報告会開催の結果について

了することに加え、本町は人口減少が続いていることから、歳入予算の40%を占める国からの地方交付税は、今後大幅に減少していくと推察しています。このことから、今後の財政運営の見直しについて、町長はどのようにお考えかお聞かせください。

問

先月、合併後初めてのとなる行政報告会が4会場で開催されました。直接町民の声を聞く絶好の場と大いに期待していましたが、町民の参加者は、いま一つだったと思います。町民への周知方法はどのように行われたかお聞きします。

答 町長 小中学校の耐震化や生活道路の整備等のやむを得ない起債により、その残高は、徐々に増加傾向を示しています。そのため、普通交付税の算入率の高い有利な起債の借り入れや、今後の起債の大幅な増加を控えることで、現在の起債残高の水準を維持する限り、財政の健全性は確保されるかと考えています。

また、今後も行財政改革等により財政健全化の取り組みを一層進めることで、想定される普通交付税減少等にも十分対応できる財政構造の確立を図る必要があると考えており、中長期的な財政状況をにらみつつ、安全安心の確保、地域や地場産業の活性化、雇用につながる事業等、優先性を勘案しつつ実施していきたいと考えています。

答

町長 町民の皆様への周知方法は、広報さほく5月号、行政放送番組組ふるさと紀北町、各報道機関を通じての開催案内、防災行政無線による開催のお知らせ等、通常行う周知の手段を全て行ったうえで開催しましたが、他の集会等と

日程が重なったり、悪天候等で出席者が少なかったこともあり、来年度以降は、できるだけ多くの町民の方々にご来場いただければ、一層の工夫を行いたいと思います。

今後の農業振興策を考えるうえで、農業後継者や担い手の育成が急務であると考えています。そのため、若い世代が農業に参加しやすい環境整備や農産物の高付加価値化を行い、農業所得の向上につなげ、安心して営農活動が行える仕組みづくりや、有害鳥獣による農作物の被害防止、耕作放棄地の解消等、農業を安心して行える生産現場の確保も農業振興につながると考えています。

災害弱者対策について

問

東日本大震災や阪神淡路大震災においても犠牲者の半数以上、約60%は高齢者や障がいを持つ方等の災害弱者であり、本町の高齢化率は、36%を超える状況となっております。町内には、足の悪い方、押し車や車椅子の方等、避難の際

に支援を必要とする方が大勢います。安全に、迅速に避難するためには、避難路への手すりの設置や照明、路面舗装等もぜひとも必要です。自主防災組織では、地域でできることは地域でやっつけていこうと住民総参加で取り組んでいます。町においてもこれに答えなければならぬと思います。町長のご所見をお伺いします。

答

町長 今年4月に両区の自主防災会に避難路整備と防災上の緊急要望をお願いし、災害弱者に配慮した避難路の舗装、手すりの取り付け等の要望があり、優先順位を付しながら実現可能なところから整備していきたいと考えています。また、災害時には町等の防災関係機関が直ちに救助に向かうことができないことが考えられ、みんなで助け合い、自分たちの町は自分たちで守るという崇高な理念のもと、地域の皆様を中心となって災害弱者の方々に支えていただきますよう改めてお願いします。

問

海山区101件、紀伊長島区100件の要望が出ました。県の予算が付く9月、12月の補正予算で考えたいのですが、鉄は熱いうちに打てという言葉があります。6月、7月に防災のための臨時議会を開いて、遅くとも7月末には予算化して、優先順位のあるものから7割、8割をカバーできるようにしてください。補助金行政でやっていたら、町民の命は守れません。走りながらこの危機管理をやらなければならないと思いますが、いかがですか。

答

町長 自分たちのできる範囲で優先順位を決めて、財政調整基金を取り崩してもいいという姿勢ですが、県の補助金等2分の1の使えるものは使っていきたいという考えです。県の内示がもらえな

瀧本攻 議員

防災対策について

いものでも、財政調整基金で予算化して、内示があとにいただければ、財源更正等もやり、決して補助金を待つという体制ではありませんのでご理解いただきたいと思いますが、義援金については、私も募金しています。

希望の持てる町づくり

問

希望の持てるまちづくりといっても、具体性がなく、言葉が踊っているだけで、4つのいろんなプランが6月補正にも上がっていません。住民の目線といいながら、上杉鷹山公を見習うということであれば、ご自身の歳費をカットするぐらいのことをしないと、なかなか住民の目線や住民は株主になりません。一体町長はこの町をどういう町にしたいのか、その辺の理念、公約をもう一度お聞きします。

答

町長 私は、自分の考えの中で、財源とか工程表のわからないまま数値的なものをいろいろ言うのは適切ではないということで、選挙当

時から、また、最初の所信表明でも具体論を出さなかったので、マニフェストとしての正式なものについてはお話ししていませんが、皆様にこの話をさせていただくことで、自分の考え方という形で出させていただいたものです。

景気について

問

野呂知事が、「3月23日の朝日新聞に、お金がないから止めるというのは旧来的考え方でやってきた。こういう考えでは国の歪みをもたらし」と述べています。これは、挑戦のない行政は町を滅ぼすということですか。私は、10年ほど前に総務省に行き、合併特例債の使い方を聞いたことがあります。箱もの以外に何に使えるかと聞いたら、第三セクターか、PFIだが、そのときは相談に来てくださいと言いました。だから、地域地域がこの合併特例債を使って地域おこしをしなければいけない。それにはやはり汗をかいて、情熱を持ってやらなければならないと思いますが、この点についてどうお考えですか。

答

町長 本当は景気については悪く、この地方ももちろんそのとおりです。そういった中で、お金がないから止めるということではなく、課題もたくさんありますが、どうしても町民の皆様にとつて必要なものはやっていかなければいけないと思っています。議員がおっしゃる趣旨とはかけ離れていることは自覚していますが、私としてはそういった形で町政に取り組んでいきたいと思っておりますのでご理解ください。

情報公開について

問

企画課がZTVで放映した予算について、例えば議会費では1億2,993万円を出していますが、何も説明していません。その中で、直接議員に払われているのは5,899万円、それ以外は、職員人件費や議員年金関係費3,188万円が入っています。これを説明してもらわないと、町民は、全て議員18人の費用だと思えます。ZTVで流す場合は、10万円、100万円単位でちゃんと算術が合うような

説明が必要であり、情報公開は、町民に、足し算、引き算がわかるようにしてもらわないと困りますがいかがですか。

企画課長

財政問題について、1年間の予算と主な事業計画等をテレビを通じて町民の方々にお知らせすることは、財政状況に始まり、費目も多岐にわたっていますので、限られた時間内で中身を突っ込んでいくのは、非常に難しいところがあります。そういったこともあり、町長の指示で行政報告会を開催させていただき、身近な皆様方とちょっと視点を交え、新年度予算等について、詳しく説明させていただきます。これらの反省のうえに立って、行政報告会、行政放送等を通じて改良を加えながら、少しでも町民の皆様方に、わかりやすい放送を心がけていきたいと思っています。

裁判の見通しについて

問

①裁判の見通しについてお聞きします。
②裁判官から資料を求められ、代理人弁護士の「できるだけ早

答

町長

①5月26日、第12回口頭弁論が開か

れ、進行協議でも、もう少し町としていろいろと主張したいというお話をさせていただきました。第13回口頭弁論が9月1日、第14回口頭弁論が11月17日に開かれます。町としても最善を尽くしていますが、今後どういう流れになるかは、今の段階ではお答えは難しいと考えています。
②進行協議のあと、弁護士とはいろいろ協議を行っていますが、まだまだとめきれないという部分もあり、できるだけ早くという答弁をさせていただいたと思います。

北村博司 議員

東日本大震災
被災地を見て

問

東清剛議員、太田哲生議員、樋口泰生議員、東貴雄議員と私の有志5人で、去る5月27日から29日まで、岩手、宮城両県の5市町を視察しました。町長も現地視察をされたと伺っていますので、被災地の率直な感想と、本町の防災対策見直しへの取り組みのお考えをお聞きます。また、児童の7割が亡くなった石巻市立大川小学校は海岸部から4キロメートル以上の立地点で、なぜあんな悲劇が起こったのか。十分さまざまな手段で検証されていると思いますので、お考えをお聞きます。さらに、本町では、赤羽川の河口から4キロメートルだと赤羽小中学校に相当します。手前の志子小学校も1キロメートルあるかないかです。学校現場におけるその辺についての取り組みの現状についてお尋ねします。

答

町長 津波は、河口から3キロメートルほどの上流部まで遡上した爪あとを残していました。傾斜が緩やかな河川は、特に津波の圧力が弱まることな

く遡上するので、本町海山区を例にすると、便ノ山、船津地区等の海の見えないところまで津波が遡上し影響を及ぼすことと考えています。しかし、沿岸部といえども気仙沼市の少し高いところは被災していなかったもので、少しでも高いところへ避難することの大切さを感じました。また、海から離れているところでも川のある地域は被害を被ったことから、どこにいても、自分がどれだけ高いところに逃げるかを常日頃から意識していたいただきたいと感じました。このようなことから、本町の防災対策の見直しは、まず、できることから実施し、その初めとしては、一番大切な住民の生命を守るために、避難路等の整備を積極的に進めていきたいと考えています。また、海抜シールをいたるところに貼り、自分が今どれくらいの高さにいるか確認できるようにし、町民、来訪者

を問わず、誰もが避難路、津波来襲時の緊急避難場所等の確認ができるように誘導看板等の設置を積極的に推進していきたいと考えています。

教育長 大川小学校では、避難所が未指定であったり、そのことを把握していなかったという問題や、避難先の決定に時間を費やしたことを新聞報道で承知しています。本町教育委員会としては、避難計画のさらなる見直しが必要だと認識し、臨時の教育委員会で、地震が発生すれば、まずは高台へ避難するという避難計画の新たな考え方を学校に示しました。また、児童生徒の安全を確保するために、迅速かつ確実に避難行動がとれるように日頃より訓練していくことが大事だと考えています。

原子力発電について

問

①東京電力福島第二原発の過酷事故、中部の浜岡原発全面停止等の状況が起りましたが、率直なご感想と今後どう取り組まれるか教えてください。

②中部電力は、大変話題になっ

た中部電力の経営ビジョン2030を各市町のトップに渡して説明をしているはずですが、誰が来て、どういう説明を受けたかお答えください。

答

町長 ①原子力発電所の建設は、電源三法

交付金制度により、多額の交付金が町に交付され、大きな企業誘致のため、雇用の創出等町の活性化につながりますが、交付金は一定期間に止まりますし、何よりも今回のような事故がひとたび発生すると、住み慣れた自宅や愛する郷土を追われ、住民の皆様が路頭に迷うことにもなりかねず、安全性には問題がある施設と認識しています。さらにこの地方では、東海、南海、南海地震という大地震が予想され、地震や津波による被害も想定されており、地域的、地理的にも問題のある施設と認識しています。

②資料を持ってきていただいたのは、地域連携グループの課長さんですが、説明については、申し訳ありませんが、30年までにそういう原発をしたいという程度しか覚えていません。

奥村仁 議員

大白公園の開発と
グラウンドの使い方について

問

①現在、海山区の大白公園では公園の開発とともに広い駐車場を設けた多目的グラウンドの建設工事が進んでおり、平成24年度には完成と聞いていますが、工事の進捗状況についてお尋ねします。

②工事中の大白公園は、計画が二転三転し、最終的な形で多目的グラウンドという形で計画が進んでいると認識しています。現在の計画では、専門グラウンドとして整備していく方向性は、町としては全く考えてないのですか。

③県営の多目的グラウンドは、使用料や予約の複雑化が懸念されますが、誰もが使いやすいルールを持ったグラウンドにしていきたいために、県に意見を投げかける努力をされるのかお聞きします。

④周辺部の環境配慮について、

グラウンドは、土ぼこりが懸念され、近隣住宅等に非常に迷惑がかかるようでは困りますので、芝生化も検討に入れてほしいですし、周辺部の住宅では、施設ができることにより、水はけや水害を気にされています。それが十分に配慮された設計になっていますか。

⑤危機管理と防災面について、大白公園には、行政放送無線を受信するものが付いていないと聞いています。また、緊急時の避難誘導の看板が見当たりません。この現状をどのように把握されていますか。さらに、大白池の水門は、町の管理ではないと思いますが、自動化をお考えですか。

答

町長

①大白公園の

整備については、平成22年度に公園造成や排水施設等の整備に着手して、平成23年度には園路等の整備を図ります。平成24年度には多目的グラウンド、フェンス、照明、トイレ、植栽等を整備し事業を完了する予定と聞いています。

②本公園のグラウンドについては、スポーツ公園としての整備

ではなく、レク都市公園として、複数の競技に幅広く対応できるように、多目的グラウンドとしての整備を行っており、特定のスポーツ専門グラウンドとしての使用については、現在考えていないと聞いています。

③三重県から指定管理者制度により、熊野灘臨海公園レクリエーション都市開発株式会社にて維持管理業務を委託していますので、完成後も同様に一本化した維持管理業務委託が行われるものと考えていますが、運営面に関しても、積極的に県に申し上げていきたいと思っています。

④芝グラウンド化は、野球がでさなくなり、また、管理の問題が大変なため、石灰岩粒調石粉舗装で防塵に優れ、降雨後の回復が早いと伺っています。また、排水については、グラウンド工事の前に排水のほうをやっていますので、十分対応はしていると思います。

⑤防災無線については、どういう状況か十分調査したうえで、検討していきたいと思っています。また、みやま園が津波襲来時の緊急避難場所になっていますので、海拔表示や避難路を積極的

に掲示していきたいと思っています。水門については、今後県と協議する中でお伝えしたいと思います。

中津畑正量 議員

防災対策について

問

①3・11大震災を受けて、自主防災会議を

立ち上げ、町長自ら会議に出席され、5月9日までに要望書を出していただき、いち早くスタートを切ったことで、前向きな姿勢を見ることができるといふ自主防災会の方の声もあります。しかし、この具体化については、早急に自主防災会、住民の話し合いを行い、その地域の住民のものにしていくが一番大事だと考えます。今までの避難場所、避難通路を白紙にして見直ししながら、行政は、住民自身や、自主防災会議の幹部の方々の意識を新たに作る作業が急がれると考えますが、町長のお考えをお聞きます。

②西小学校の岡ノ上への避難、

東小学校の萩原台へ行く橋の補強、紀伊長島幼稚園の窓ガラスの飛散対策、相賀小学校や船津小学校の避難場所の高さ、潮南中学校の避難場所の見直し等について、町長の思いをお聞きます。

答

町長

①自主防災会

で、早急に避難路等の調査を行い、整備が必要な内容と箇所を箇面に記載していただき、2011年の要望をいただきました。その要望に対し、早急に判断が必要となり、要望いただいた全ての箇所を各自防災会と現地確認して、相談したうえで、優先順位を決めて、実施可能などから整備したいと考えています。また、避難路については、改めて一からゼロベースで考えていきたいと思っています。

②西小学校や相賀小学校等は、一応メールは書いてあります。これはあくまでも目安というところで、そこから先を上げられるような場所を指定してあります。また、ご理解いただきたいと思

り、早急に行けるところから始めていきたいと思っています。

教育長

②現在、見直しをし

て訓練をやっている中で、いろいろな課題を訓練を通して克服し、避難場所についても、可能な限り複数で避難場所を考えることを学校も取り組んでいます。紀伊長島幼稚園については、フィルムを貼って飛散防止をしています。今後は新たに考えなければいけないと思っています。

原子力発電所事故について

問

東日本大震災で発生した福島第一原発事故

は、大量の放射能が漏れ出し、セシウムやヨウ素、プルトニウム等の放射性物質が海水や土壌、大気中に今もなお放出され続けています。この原発事故は、人災とも言われていますが、世界的に大きな不安が広がって、脱原発の動きも本場に加速している状況です。

今回のように、原発で重大な事故が発生すると、国や電力会社が発電設置時代から安全だと

入江康仁議員

言ってきたことが全くのうそで、甚大な被害が出ていることが明らかになった今、町長の原発に対する認識、見直し、考え方の違いがあったかどうかお聞きします。

紀北町の防災対策について

町長 この地方は、東海、東南海、南海地震に見舞われる地域です。そういった意味からもこの福島と同じような状況ですので、大変危険な状態だと思っています。したがって、三連動の地震等、そして地形を見て、この地域においては安全性に大変問題がある

問 ①東日本大震災の教訓に対して、町長は紀北町の防災対策について総合的にどのような考えを持っているのか。また、職員に対してどのような指示を出しているのか答弁をお願いします。

と認識しています。また、私は海山の当時から、反対という姿勢を出していますので、それについては、何ら今この段階でも、この事故があらうがなからうが、そういう考えは、13年当時から変わりはありません。

②幼稚園・小学校・中学校の先生方は地震・津波に対して、日々ジレンマに立っていると思えます。紀北町としての指針を示すべきと考えますのでご答弁をお願いします。

③千年に一回と言われた東日本大震災の数値を基準とするのか、東南海、南海地震の百年に一度の数値を基準にするのか紀北町としてどのような数値基準で防災に挑むのかお聞きします。

④職員一体となつてのプロジェクトチームをつくることについてお考えをお聞きます。

⑤自主防災会から出されている201件の要望にどのように対応

応していくのかお聞きします。

⑥既存の避難路・新たな避難路の整備についてのお考えをお聞きます。

⑦3月定例会でも防災につながる街灯について質問しましたが、整備の必要性についてお考えをお聞きます。

いものだと思えます。私の基準というのは、今住んでいる所や避難しようとする場所がどれぐらの高さなのかを町民の皆様に示しまして、自分の住んでいるところの判断をしていただくことが、第一だと考えています。

④プロジェクトチームを立ち上げなければいけないと判断した時に考えたいと思います。

⑤自主防災会からの要望に関しては、これからも現地に入り、自主防災会の方々と話ししながら、町としての順位をつけていきたいと思えます。今、相賀地区で4本整備を想定しています。特に海側から始めており、予算化していきたいと思っております。

⑦ソーラーのように夜一日中保てるバッテリーを持ったものやLED灯バッテリー付のものも研究していかなければいけないと思えます。

教育長 ⑧現場を確認し、町長部局にお伝えしてありますので、検討していただいていると思っております。

町長 ①総合的には、少しでも早く、少しでも高く、住民の命を高いところへ上げるといことが、大変重要だと思っております。職員については、危機管理課・建設課ともども取り組んでいきたいと考えています。

②教育委員会も入っていただきまして、十分議論させていただきました。

③基準は、国、県の基礎データが出てこない、なかなか難し

⑥避難路については、調査をさせていただいたうえで、各自治会、自主防災会の皆様のご意見を総合しながら、優先順位の高いところからやるべきだと思います。既存の避難路については、地域の皆様が十分認識していただいたうえで、自分たちでする整備はしていただきたいです。手すりをつけたり、階段の傾斜をゆるくしたり、スロープにすることは、公助の部分だと思っ

②カツオの水揚げとか、いろいろな水揚げに対しての振興策はどのように考えているのかお聞きします。

③東日本大震災により、東北地方の主になる水揚げ基地は壊滅状態となっています。水揚げしていた船を今こそ地元で誘致するような施策をお考えかお伺い

地場産業の活性と老人ホームの改築について

⑨防災対策予算の国への陳情・要望のためには、事前に計画書を策定しておくべきだと思えますが、どのようにお考えかお聞きます。

⑨議員が言われるように計画していれば、国、県の予算も入れられる形になりますので、やっていきたいと思えます。

①水産業に対する町長の考え方を伺います。

します。
④赤羽老人ホームの改築については決断しなければいけない大きな問題です。説明をお願いします。

答

町長 ①これまでこの

地域を担ってきた大変重要な産業だと思っています。

各漁港の整備、アワビ等の各種苗放流、築磯事業等を行っています。水産業に対しては自立できる事業としてやっていた

きたいし、後継者もできるような漁業振興を図っていききたいと思っています。

②構造的な問題、流通的な問題

もありますが、できる部分は力になっていきたいと思っています。

③大変、難しい問題だと思いません。漁師の方からお話を聞かせていただきましたが、鰹船は情報を取りながら、魚価やイワシの餌のあるなしを選んでいくということでした。燃油の問題もあり、なかなかこちらに引き戻すのも難しい問題だと考えます。

④赤羽老人ホームについては、入所されている方の安心・安全を考慮し、スプリングラーと床

を直させていただきました。建て替えについては、ユニット型か単独型によりまして、入所者の経済的負担にも影響しますので、もう少し勉強させていただきたいと思っています。

東篤布議員

安全なまちづくりについて

問

安全なまちづくりは、防災はもちろん、防犯、福祉、教育と多岐にわたりますが、今回は防災に絞ってお尋ねしますので答弁をお願いします。

①過去の災害の文献等を参考にするとともに、専門家の先生を招く等、町民も交えて本町の長期的な防災計画を立てていかなければと思います。お考えをお聞きます。

②安全なまちづくり条例をつくる気持ちがあるかお伺いします。

③東小学校については、児童の安全を考え、屋上に登れないようになっているとお聞きしていますが、近隣町民の避難場所

もあるのでは、屋上に登ることについて教育長と相談されるようお願いいたします。

④災害について申し上げます

と「何も持たずに逃げてくださ

い」、「公共施設は高台に建てま

しょう」、「逃げ場のないところ

は立体駐車場（避難場所）をつ

くりましょう」の3点と考えま

す。「何も持たずに逃げる」こ

のあとの行政の役割はやはり食

料の確保です。海岸部にお住ま

いの方々に、せめて3日分の食

料は行政で確保していただきたい

と思います。町長のお考え

をお聞きます。

⑤防災における学校問題、教育

の場ですが、最も安全な適地にあるべきだと思います。学校区を取り外すことよって、津波等への安全性、危険性を判断できると考えますので、一度そのことを検討していただけないかお尋ねします。

⑥紀北中学校が建設されますが、出垣内地域の自主防災会では、ぜひ高台に上げていただくとういうことで話がまとまったよう

です。もう少し予算を計上すれば、もう少し高く、安全な施設

を考えをお聞きます。

答

町長

①議員のおっしゃるとおりだと思います。私も長期的展望というこ

とは、大変大事なことだと思

ますので、そういったものを考

えたいので、まず短期、今走り

ながらでもやらなきゃいけない

ことも踏まえてやっていかな

ければいけないと思います。ま

た、過去の経験、記録も取り入

れ、今後、考えていきたいと思

います。専門家の方も呼びし

て、どういうまちづくりがいい

のかということ、全体論も考

えてやっていきたいと思

ついて前向きに検討させていただ

きます。

④食料についても、備蓄品を十

分考えて、高台とか、分散備蓄

することによって住民の皆様

に不自由をかけないように今後、

検討していきたいと思

います。

⑤教育委員会とお話をさせて

いただきます。

⑥議員のおっしゃることも十分

わかりますが、紀北中学校につ

いては、現行のままでお認め

ただきたいと思っております。

ご理解のほどよろしくお願

い申し上げます。

水谷建設の野々瀬採取許可について

問

水谷建設の野々瀬地区の土砂採取許可が切

れましたが、3月定例会でお尋ねした回答を議会にまだいただ

いていません。その後の経過報告をいただけませんか。議員に

も住民にもわかりやすく説明願

います。

答

町長

3月定例会後の経緯を議員の皆様にお話しできなかったことをまずは

お詫び申し上げます。県に確認したところ、平成23年4月28日に水谷建設より「採取計画認可申請書」が提出されているというものでした。提出された「採取計画認可申請書」については、内容に不備があり、平成23年6月に入って、不備部分の手直しを行うよう県から指示文書が出されていると聞いています。今後、手直し、終了後に紀北町に対して、土砂採取計画の認可申請に伴う意見書が求められていることとなっていますが、現在、その時期については、未定です。

奥村武生 議員

と思います。お金の問題とかもございますので、十分に検討するとともに、議員の皆様のご意見も機会あることに主張していただいたうえで、判断していきたいと思っています。

住民要求から出てきた意見について

原因の中に、行政の重大な瑕疵責任があると思います。町長の考えをお聞きします。

問

住民要求から出てきた意見を研鑽して、町

老人ホームに対する町の方向性、指針について

政に反映させるのが議員の最大の責務であることから、次の項目についてお聞きします。

問

赤羽老人ホームの運営については、町営でやっていた方がいいと思っておりますが、町長は町営・民営のどちらが良いか検討されていると聞いています。町長に就任されて、もう少しで3年ですので、ご答弁を求めます。

①出垣内地区の堤防は、全部コンクリートでできたものか、部分的にコンクリートで補強した堤防なのか、海抜は何メートルか、お伺いします。

②町長主導で計画する工事について、三陸沖災害を受けての対策はスロー過ぎます。有事のとき1人も犠牲者を出さないビジョンをお示し願います。

③宮城県石巻市の大川小学校の75%にのぼる児童が亡くなった

答 町長 いろいろと今年度、勉強していきたい

原因の中に、行政の重大な瑕疵責任があると思います。町長の考えをお聞きします。

④呼崎の愛宕山ですが、ここは約何人の人が避難するとお考えですか。掌握されているかお尋ねします。

⑤東小学校の萩原台への避難路は橋が古く、JR線路下の道が通れなくなる等、万が一の時危険を伴うと思います。5千万円でも、1億円でも注ぎ込んで新たに萩原台がある山へ向かう橋をかけてもいいかと思えますが、町長の考えをお聞きします。

⑥井ノ島地区の秋葉山に逃げる道が3つありますが、旧尾鷲高校長島分校側は地震によっては、崩落する可能性も無きにしも非ずで、整備が必要だと思います。あとの2つも整備することを一度ご検討いただけるとお聞きします。

⑦出垣内地区には1本の谷筋があり、途中まで道がついていますが、この道を久賀坂、あるいは幼稚園に結ぶのか、これも必要なことと思います。また、高速道路へ逃げる道をつくっていただきたいとの要望もあります。が、お考えをお聞きします。

⑧西長島地区の入江町、横町には多数の住民がいらっしゃいます。10分以内に津波が来ると想定した場合に、記念碑山なり、岡ノ上に逃げる時間がないと思えます。私は横町の中心に8階なり10階建てのビルを建ててはと思いますが、町長のお考えをお聞きします。

⑨中ノ島地区の県道が改良される予定ですが、その道路への避難路を作ってほしいとの要求が中ノ島地区から出てきていると思えますが、ご承知かお聞きします。

⑩海野小学校から高台への避難道が一部中断しています。誠意を持って、地主さんとお話しして完成していただきたいと思いますが、町長のお考えをお聞きします。

⑪三浦地区を縦断する川に樋門等が必要です。行政主導の仕事だと思えますが、お考えをお聞きします。

⑫相賀地区の本地、松町の人はどこに逃げればよいかお聞きします。

⑬相賀地区本地のど真ん中に高いビルを建てるお考えがないかお聞きします。

⑭白浦地区城山の堤防は10メートルですが、波が集中して乗り越えてきた場合は、持ちこたえられないと考えます。上4メートル、下15メートルの波返しをつくった大堤防が必要であると思えますので、一度、県に提言をしていただけないか町長のお考えをお聞きします。

⑮引本地区の皆様からは、やっぱり「避難路を」との声が高いわけですが、地元をよく知る方からは、天理教のところは避難路として適さないのではとの話を聞きます。地質調査と浮き石対策は、どうしてもやっていたいただきたいと思えますので、町長のご答弁をお願いします。

⑯避難路や堤防の整備をどのような形で県に要望するのかお聞かせ願います。

答 町長 ①土手だというは5・8メートルから6・1メートルと聞いています。

答

町長 ②児童、生徒、住民の命を守り、救うべき避難路整備をまず、優先していききたいということです。それが、今、想定できない津波に対しての、犠牲を出さないという最善のビジョンだと思います。

①出垣内地区の堤防は、全部コンクリートでできたものか、部分的にコンクリートで補強した堤防なのか、海抜は何メートルか、お伺いします。



国道42号夜間通行止めのお知らせ

国道42号海山区船津地内にて、足場解体工事のため夜間通行止めを行いますので、ご理解とご協力をお願いします。

①規制日時 9月5日(月)22:00～翌朝4:45

※荒天の場合翌日に順延します。

1回目/22:00～22:45

5回目/ 2:00～ 2:45

2回目/23:00～23:45

6回目/ 3:00～ 3:45

3回目/ 0:00～ 0:45

7回目/ 4:00～ 4:45

4回目/ 1:00～ 1:45

平素より工事にご理解とご協力
いただきありがとうございます。

②規制内容 夜間通行止め(全面通行止)

③通行止め箇所案内



④道路情報

パソコンから(通行規制情報)

【国土交通省中部地方整備局中部地区道路情報提供システム】

<http://its.cbr.mlit.go.jp/>

【紀勢国道事務所ホームページ】

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisei/>

【日本道路交通情報センター】

<http://www.jartic.or.jp>

携帯電話から(通行規制情報)

【docomo】 <http://its.cbr.mlit.go.jp/i/>

【au】 <http://its.cbr.mlit.go.jp/ez/>

【Softbank】 <http://its.cbr.mlit.go.jp/j/>

【問い合わせ】

国土交通省中部地方整備局

紀勢国道事務所工務課

TEL0598-52-5363

東紀州事務所

TEL25-0688

【当日の問い合わせ】

株式会社IHI インフラシステム

内頭川橋梁現場作業所

TEL33-0777

紀北町職員募集

【問い合わせ】本庁総務課職員係
Tel.32-3901

職種及び採用予定人員

看護師・・・・・・・・・・1名
浄聖苑職員（現業職員）・・・1名

応募資格

看護師・・・昭和37年4月2日以降生まれの方で
保健師または看護師免許を有する方
浄聖苑職員・・・昭和37年4月2日以降生まれの方
※ただし、次に該当する方とする。

○学校教育法に基づく大学・短期大学（高等専門学校を含む）・高等学校を卒業または、平成24年3月卒業見込みの方で、採用後は紀北町内に居住可能な方

○地方公務員法第16条（欠格条項）に該当しない方

採用予定年月日 平成24年4月1日

応募期間

9月1日（木）～30日（金）

午前8時30分～午後5時

（ただし、土・日曜日及び祝日は除く）

※なお、郵送により申込書を提出される場合は、封筒の表に朱書きで「職員採用試験申込書在中」と記入し、申込期限必着で特定記録郵便により送付してください。

提出書類（各1通）

- ①受験申込書（本庁総務課及び紀伊長島総合支所総務室で交付）
- ②履歴書（市販のものまたは全国高等学校統一応募用紙）
- ③面接カード（本庁総務課及び紀伊長島総合支所総務室で交付）

- ④健康診断書（本庁総務課及び紀伊長島総合支所総務室で交付）
- ⑤最終学校の卒業（見込み）証明書
- ⑥保健師または看護師免許証の写し（看護師申し込みの方のみ）

試験日及び場所

10月23日（日）午前9時～

看護師・・・役場別館3階大会議室

浄聖苑職員・・・役場本館3階委員会室

試験の内容

看護師・・・教養試験
（大学、短大、高校卒業別を実施）
作文試験、面接試験

浄聖苑職員・・・教養試験（高校卒業程度）、作文試験、
面接試験

勤務先

看護師・・・老人ホーム赤羽寮（紀伊長島区島原）

浄聖苑職員・・・浄聖苑（海山区船津）

給与等

看護師・・・紀北町一般職の職員の給与に関する条例及び規則の定めるところによる。

浄聖苑職員・・・紀北町現業職員の給与の種類及び基準を定める条例及び規則の定めるところによる。

【応募書類の提出先】

本庁総務課職員係 Tel.32-3901

行政相談週間 10月17日(月)～23日(日)

～困ったら一人で悩まず行政相談～

「行政相談」とは、国やN T T等の特殊法人等の仕事について、みなさんから苦情や意見、要望をお聞きし、その解決の促進を図る制度です。

総務省では、この行政相談制度をみなさんにもっとよく知っていただき、利用していただくため、10月17日（月）から23日（日）までの一週間を「行政相談週間」として、全国的にいろいろな行事を行います。

この週間にちなんで、本町でも、次のとおり「行政相談所」を開設します。年金、保険、税金、登記、道路、福祉等、役所の仕事について、お気軽にご相談ください。

日時 10月4日(火)午前10時～正午

午後1時30分～3時30分

老人福祉センター2階(海山区)

社会福祉会館(紀伊長島区)

※「行政相談委員」とは、総務大臣が委嘱している民間有識者で、みなさんの身近な相談相手です。

ご相談は無料で、相談者の秘密は固く守ります。

なお、当日で都合の悪い方は、次のところで行政相談に応じていますので、ご利用ください。

問い合わせ

総務省三重行政評価事務所行政相談課

おこまりならまるまろくじょーひやくとおぼん

Tel.0570-090110

受付時間：平日午前8時30分～午後5時15分

PHS、IP電話等をご利用の場合はTel.059-227-1100



第4回『昭和の縁日』開催決定!!

今年も下記のとおり昭和の縁日が開催されます。前回大好評のおばけ屋敷もテーマを「レストラン」として、さらにパワーアップして登場!! 会場ではいろいろな遊びや食べ物、イベントなどをご用意みなさんのお越しをお待ちしています。子供から大人まで家族みんなでなつかしい縁日に遊びに来てください。

日時 9月10日(土)午後2時～7時

場所 長楽寺参道および多目的会館駐車場

料金 チケット1枚50円(チケット1枚～4枚で遊んだり食べたりできます)

★浴衣で来場してくれた小学生以下のお友達にはチケット3枚をプレゼント

おみせ 射的、スーパーボールすくい、かたぬき、水ヨーヨー、ダーツ、マンボ DE ピョン、ビンチョウ DE 一本つり、かき氷、もんじゃき、ラムネ、わたがし、フライドポテト、からあげ、フランクフルト、串カツ

あそび おばけ屋敷、竹馬、環境管理課 PR ブース、おたのしみブース、美し国三重ブース



縁日には、みんなのヒーロー『KIHOKU 戦隊 アババイン』や『きーほくん』も遊びに来るよ!!
アババインと一緒にダンスを踊ろう!!

主催 昭和の縁日実行委員会
問い合わせ 本庁商工観光課観光係 TEL32-3905



目指せ! 達人 三重の公共温泉

ゆら〜り湯ラリーの開催について

県内の公共温泉を巡って温泉の達人を目指す「目指せ! 達人 三重の公共温泉=ゆら〜り湯ラリー」が下記の期間、開催されます。

紀北町からは「きいながしま古里温泉」が参加しており、スタンプを押すことができます。

パンフレットは、きいながしま古里温泉をはじめ、道の駅や観光サービスセンターに設置してあります。



期間: 9月1日(木)~平成24年2月29日(水)

★特典1 抽選で当たる! ペア宿泊券&ご当地賞!! 【合計50本】

パンフレットを持参して、入った温泉でスタンプを押してもらいます。スタンプ3個ごとに配布される抽選用応募用紙に、必要事項を記入のうえ、各施設に設置の抽選応募箱に投函してください。2ヵ月に1度抽選を行い当選者を決定します。

★特典2 もれなくもらえる! 達人賞!!

パンフレットを持参して、県内15ヵ所の公共温泉をすべて巡ると、もれなく達人賞として達人オリジナルタオル等をプレゼント! タオルにはお名前と達成順にシリアルナンバーが入ります。目指せ! 初代達人!!



問い合わせ 本庁商工観光課観光係 TEL32-3905

毎月第3日曜日は「健康ウォーキングの日」です!!

🐾 今月のおすすめコースは・・・白石湖周回コース (5Km)

現在、町内に8カ所のウォーキングコースを設定しておりますが、今回そのコースごとにウォーキングコースの案内板を設置しました。ウォーキングは健康づくりに最適な方法の1つであり、誰もが簡単にできる運動です。案内板を設置したことのお知らせと健康ウォーキングを推進するために、下記の行事を開催します。ぜひ参加して、健康で長寿の町づくりにご協力ください。



▲設置したの案内板一例です。

【ウォーキングコース案内板設置記念セミナー】

日時 9月18日(日)午前9時～(第3日曜日) 受付：午前8時30分～

場所 町民センター大会議室 ※雨天の場合：海山体育館

※講演会及びウォーキング教室終了後、白石湖周回コース(5Km)をみんなで歩きます。

- 内容**
- ①記念講演会 講師 平岡 令孝氏(平岡健康開発研究所所長)
 - ②ウォーキング教室 (講演会及びウォーキング教室は雨天でも実施)
 - ③ウォーキング (白石湖周回コース 雨天中止)

🐾ウォーキングの効果について No.3

筋力の低下を防ぐ

ウォーキングによって筋肉に刺激を与え、足腰の筋力低下を防ぐことができます。足腰の筋肉が弱ると、腰痛や膝痛の原因になったり、疲れやすい身体になってしまいます。

🐾日頃ウォーキングを実践されている方の体験談です。



題名「歩くしあわせ」 海山区相賀：濱野 節子 さん

私は10年程前から、ほとんど毎晩、夕食後の1時間を歩いています。月に1回近くの山へハイキングにも行きます。7月は、天狗倉山へ登りました。2年前、八鬼山へ登り、三木里へ降りる途中、転んで足のくるぶしを骨折し、2ヵ月程歩けなかったため、降りる時は滑らないよう注意して歩いています。山頂から眺める尾鷲湾、引本湾、白石湖は素敵な景色です。これからも一緒に歩いてくれる友達に感謝し、健康のために歩きたいと思っています。

紀北町開発公社 住宅入居者募集

募集棟	間取り	家賃等
小松原住宅 (船津地内)	1戸 (3階2号室)	3DK(和3・台所・浴室・洗面・トイレ)
		月額：27,000円 共益費：3,000円 敷金：81,000円

問い合わせ・申し込み
（財）紀北町開発公社
事務局
（本庁企画課内）
TEL (32) 39003

※希望者が複数の場合、抽選により決定します。

受付期間

9月1日(木)

～12日(月)

構造
鉄筋コンクリート造
3階建て

入居資格
①住宅に困窮している方
②町税、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料及び水道料金に滞納のない方
③暴力団員でない方
④入居決定日から30日以内に入居できる方

※単身の方や町外の方も申し込みできます。

図書館だより (9月の新刊案内)

町民センター図書室から

「箱庭図書館」/乙一



新刊案内「図書名」/著者名

- 「珍妃の井戸」/浅田次郎
- 「気功の学校 自然な体がよみがえる」
/天野泰司
- 「下町ロケット」/池井戸潤
- 「絆回廊 新宿鮫X」/大沢在昌
- 「進々堂世界一周 追憶のカシュガル」
/島田荘司
- 「決定版 お茶大図鑑」/主婦の友社
- 「おかえり。5ねんぶりの生協の白石さん」/白石昌則
- 「天魔ゆく空」/真保裕一
- 「源内なかま溝」/高橋克彦
- 「僕は、そして僕たちはどう生きるか」
/梨木香歩
- 「ガッテン流! 脱・糖尿病の新ワザ」
/日本放送協会
- 「刑事さん、さようなら」/樋口有介
- 「ダイナー」/平山夢明
- 「花の鎖」/湊かなえ
- 「ロマンス」/柳広司

お一人5冊 15日間借りられます。(上記今月の新刊は2冊) 初めてご利用の方、カード登録には住所証明できるものをお持ちください。新しい本のリクエストは新刊本棚の青い箱にリクエストカードを入れてください。わからない場合はカウンターへどうぞ。

児童図書館から

「ちゅーちゅー」
/宮西達也



新刊案内「図書名」/著者名

- 「絵本の国のぬいぐるみ」/原優子
- 「いーとんの大冒険」
/なばたとしたか
- 「つきよ」/長新太
- 「おつきさんのき」/長新太
- 「ドラキュラ・キューラに気をつける!」/山口理
- 「あかちゃんとおはなしなまえなあに まいにち」/LaZOO
- 「保健室で見るアレルギーの本①食べ物のお話」/近藤とも子
- 「「好き」をつらぬこう ヨーヨー世界チャンピオンの挑戦」/BLACK

※借りた本は必ず返してください。
☆あかちゃんの時からお母さんの膝で絵本を!

多目的会館図書室から

「天上紅蓮」/渡辺淳一



新刊案内「図書名」/著者名

- 【一般図書】
- 「いねむり先生」/伊集院静
- 「母と息子の老いじたく」
/ねじめ正一
- 「マネー避難」/藤巻健史
- 「水の透視画法」/辺見庸
- 「下町ロケット」/池井戸潤
- 「やわらかなレタス」/江國香織
- 「ポニーテール」/重松清
- 「信玄の軍配者」/富樫倫太郎
- 「愛しのローカルごはん旅 もう一杯!」/たかぎなおこ
- 【児童図書】
- 「ペンギンきょうだいふねのたび」
/工藤ノリコ
- 「ペンギンきょうだいいれっしゃのたび」/工藤ノリコ

※延滞されている方は、至急返却をお願いします。

「よみきかせの会」(児童図書館)

9月10日(土) 11:10～

※児童図書館にて絵本と紙芝居を読みます。
お気軽にお越しください。



消防・警察だより

救急休日在宅当番表

受診する前に電話で連絡してください。時間は9時～17時です。変更がある場合がありますのでご注意ください。(救急医療情報システム TEL 22-1199)

月日	曜日	尾 鷲	電 話	紀 北	電 話
9/4	日	玉置眼科	22-5611	かとう小児科	47-3341
9/11	日			加藤内科	32-1666
9/18	日	きば内科クリニック	22-3535	島勝診療所	39-0009
9/19	月			尾辻医院	47-0890
9/23	金			神谷医院	32-0016
9/25	日			上里診療所	33-1100

消防だより

火災・救急発生状況(7月末現在)

火災		発生状況						
		総件数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
	紀伊長島区	4(±0)	3(-1)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	1(+1)
	海山区	6(+4)	0(-1)	1(+1)	1(±1)	0(±0)	0(±0)	4(+3)
	組合管内	19(+11)	9(+4)	1(+1)	2(+2)	1(+1)	0(±0)	6(+3)

救急		発生状況					※組合管内は、三重紀北消防組合管内の件数
		総件数	急病	交通事故	一般負傷	その他	
	紀伊長島区	282(+43)	197(+44)	25(+5)	28(-2)	32(-4)	()は前年比
	海山区	219(-14)	151(-16)	14(±0)	36(+3)	18(-1)	
	組合管内	1,117(+80)	759(+96)	74(-2)	150(-23)	134(+9)	

警察だより

免許証の住所が紀伊長島区の方のみ

9月の免許更新日(13日・27日)

受付時間 9時～14時/優良・一般 15時～16時

※問い合わせは尾鷲警察署交通課免許係(TEL 25-0110)までお電話ください。

交通事故発生状況(7月末現在)

	交通事故総件数	人身事故件数	死者数	負傷者数	物損事故件数
紀北町	242(+17)	42(-2)	1(+1)	63(-5)	200(+19)
尾鷲署管内	508(+22)	91(-4)	2(+2)	124(-15)	417(+26)
三重県内	35,584(-171)	6,006(-500)	63(-14)	7,937(-636)	29,578(+329)

()は前年比

カラオケもんちゃん 四万七千七百円	東正治 二万五千九百五十円	紀州カラオケ愛好会 三万円	大台町 播 紘 五千元	小山浦 川端己喜男 三万円	相賀 奥村利貞 二万円	引本浦 山城保 三万円	便ノ山 玉津義也 三万円	古里 野呂早苗 三万円	長島 東 克己 一万円	東長島 宮田 豊文 三万円	東長島 東 あす 十万円	三浦 中野 百夫 三万円
----------------------	------------------	------------------	-------------------	---------------------	-------------------	-------------------	--------------------	-------------------	-------------------	---------------------	--------------------	--------------------

善意をありがとう
(紀北町社会福祉協議会へ)

戸籍の窓

【平成23年7月1日～31日受付分】

お誕生おめでとう

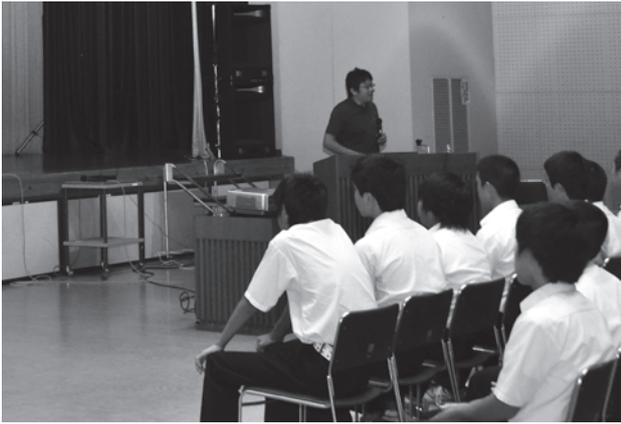
住所	子の名前	保護者
東長島	西村 夏芽	秀樹
長島	林 杏奈	充洋
三浦	谷口 大翔	二郎
道瀬	中世古海音	海
東長島	東 華波	純也
長島	東 理生	宏樹
長島	東 咲希	聡
長島	中野 翔太	洋二
馬瀬	垣内 玲音	透
上里	麻生 結心	健
小山浦	川端 一歌	一史
相賀	大岩 凌央	輝昭
相賀	岡 優仁	正幸

ごめい福を祈ります

住所	氏名	(年齢)
東長島	森井 寛	(103歳)
長島	東 たまゑ	(91歳)
島原	谷 鈴子	(82歳)
古里	野呂 百代	(91歳)
長島	市川 清	(78歳)
東長島	和手 和男	(78歳)
長島	大垣 忠市	(87歳)
東長島	西村せつか	(81歳)
東長島	西村 征喜	(70歳)
長島	西山ひさみ	(83歳)
三浦	中野 正美	(79歳)
相賀	長田 和彦	(52歳)
引本浦	平山 八千	(89歳)
引本浦	山城 澄子	(75歳)
相賀	日沢 教夫	(67歳)
島勝浦	篠原 誠	(56歳)
引本浦	家崎 芳伸	(57歳)
引本浦	根末 久朗	(73歳)
引本浦	奥村 信之	(67歳)
相賀	世古 和子	(88歳)
白浦	入江 政数	(91歳)

8/7

PTA 防災講演会



8月7日、東長島公民館で紀北中学校と保護者が防災について考えようと防災講演会が開催されました。

登校日の生徒225人と保護者約40人が集まり、三重大学准教授の川口先生の講演を聞きました。

「発表される津波の高さは潮位の変化であり、それより高い場所に居れば助かる訳ではないなど、もしかしてと思うことが大切です」と話していました。

参加者は防災について改めて考えていました。

8/10

いきいきトレづくり



8月10日、紀北教育会館で海山いきいき子ども学園による、牛乳パックを使ったトレづくり教室が開かれました。

子どもたちは、トレーの形に切り取った牛乳パックに好きな絵柄の布を張り付けるなど細かい作業に真剣な表情で取り組んでいました。

完成するとうれしそうな表情で友達に見せ合ったりしながら楽しんでいました。



7/30

2011 きほく夏祭り KODŌ



7月30日引本港で2011きほく夏祭りKODŌが開催されました。

今年は手づくりいかだ部門と、実行委員会で用意したいかだに乗ってもらう一般参加部門が行われ、過去最多の合計51チームが参加し、スピードを競いました。

他にも鯛の釣り堀や特設ステージでの和太鼓演奏、保育園児によるかわいらしい踊りも披露され、会場に訪れた約9,000人が夏の一日を楽しみました。



くき漬けが美味しい時期になりましたよ。

くき漬けを知ってますか？サトイモの一種であるヤツガシラの茎を塩と赤シソで漬けた漬物のことで、紀北町で古くから食べられてきた郷土料理です。家庭によって食べ方は様々で、薄切ったカツオの生節をすりおろした生姜と一緒にくき漬けの上にのせ、しょうゆを少したして食べるのが素材の味がよく分かる一般的な食べ方ですが、さらにその上にマヨネーズをかけて食べると味がまろやかになり、くき漬けの味をより深くしてくれるという方もいるようです。炊き立て熱々のご飯と一緒にかきこめば、爽やかな酸味と茎の滋味豊かな甘みが口いっぱいになり……絶品です。

他にも、ご飯・叉焼・卵と一緒に炒めた「くき漬炒飯」はシャキシャキの食感で炒飯が格段に美味しくなります☆

みなさんも美味しい時期に食べないと損ですよ！

9月10日は「世界自殺予防デー」 9月10日～16日は「自殺予防週間」です。

9月10日は、世界保健機関（WHO）が定めた「世界自殺予防デー」です。

また、国の自殺総合対策大綱では、9月10日からの一週間を「自殺予防週間」として、広く国民に命の大切さや、自殺の危機を示すサインに気づき、声をかけて対応することの重要性を呼びかけています。

★三重県が実施した「東紀州自殺対策に関する意識調査」の結果から★

今年1月に、地域の自殺死亡の課題を把握するために、東紀州地域で2,000人を対象にしたアンケート調査が行われました。その中で「過去に自殺を考えたことがある」と応えた人が、4人に1人の割合であり、そのとき、「自殺をしたいと思ったことを誰かに相談したか」を尋ねると、**約6割の方が「誰にも相談しなかった」と回答されています。**

精神的に追い込まれたり、うつ状態になると、自分からSOSを発することが難しくなります。

また悩みを抱えた時、特に中高年の男性は責任感が強く、無理に一人で抱え込む傾向があります。本当は、頑張りすぎず弱音をはいて、少し背負っている心の重みをおろすことが大切です。

悩んでいる人に気づき、声をかけ、話をよく聴いて、必要な支援につなげて見守っていく…これが、私たちにできることです。



日本脳炎予防接種

予防接種法施行令が一部改正され、平成17年度から平成21年度にかけて日本脳炎予防接種の積極的勧奨の差し控えにより接種を受ける機会を逃した方について、接種期間が緩和され、1期3回と2期1回の合計4回の接種に不足がある場合、公費負担で接種ができるようになりました。

下記の対象の方は母子手帳をご確認のうえ、本庁福祉保健課または保健センターで予診票を受け取り、医療機関に予約して接種してください。

○対象者：平成7年6月1日から平成19年4月1日までの間に生まれた方

○接種期間：20歳未満までの間（ただし2期は9歳以上）

○医療機関：かとう小児科、木ノ内医院、三浦診療所、垣内胃腸科内科、尾鷲総合病院、上田医院、長野内科小児科、内山クリニック、長谷川内科、生協おわせ診療所、青木クリニック、西井外科胃腸科

※上記以外の医療機関でご希望の方は老人福祉センターTel.32-3912または保健センターTel.47-4750までお問い合わせください。

ポリオワクチン接種

9月7日（水）老人福祉センター

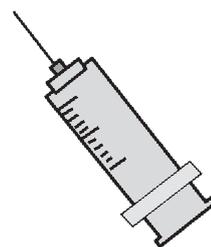
9月14日（水）東長島公民館

【対象者】3ヵ月～7歳6ヵ月未満で、2回接種していないお子さん

★対象者には通知書を郵送します。

接種日までに通知書が届かない方は、ご連絡ください。

【問い合わせ】本庁福祉保健課（老人福祉センター）Tel.32-3912
保健センター Tel.47-4750



お知らせ

一般健康相談(血圧・尿検査等)

9月1日(木)
 白浦集会所・・・ 9:30～10:10
 島勝漁村センター・・・ 10:25～10:55

9月2日(金)
 便ノ山多目的集会施設・・・ 9:30～10:00
 木津集会所・・・ 10:15～10:45

9月7日(水)
 船津集会所・・・ 9:30～10:30
 新田多目的集会施設・・・ 10:45～11:15
 東長島公民館・・・ 10:00～11:00

9月14日(水)
 馬瀬集会所・・・ 9:30～10:00
 河内区民会館・・・ 10:15～10:45
 保健センター・・・ 10:00～11:00

9月15日(木)
 十須集会所・・・ 9:30～10:00

9月16日(金)
 三浦公民館・・・ 13:30～14:00
 道瀬会館・・・ 14:30～15:00

9月21日(水)
 赤羽出張所・・・ 9:30～10:00
 大原公民館・・・ 10:15～10:45
 此ヶ野公民館・・・ 11:00～11:30

10月5日(水)
 船津集会所・・・ 9:30～10:30
 新田多目的集会施設・・・ 10:45～11:15
 東長島公民館・・・ 10:00～11:00

10月6日(木)
 白浦集会所・・・ 9:30～10:10
 島勝漁村センター・・・ 10:25～10:55

10月7日(金)
 便ノ山多目的集会施設・・・ 9:30～10:00
 木津集会所・・・ 10:15～10:45

30歳代健診(血圧・尿検査・血液検査等)

10月12日(水)東長島公民館
11月9日(水)老人福祉センター
【時間】9:30～11:00、13:30～15:00
【料金】1,000円
【対象】30歳代で職場等で健診を受ける機会のない方
【申し込み】まだ申し込んでいない方は
 老人福祉センター(Tel.32-3912)または
 保健センター(Tel.47-4750)へ
 お申し込みください。

400ml 献血のお願い

9月21日(水)
 三浦公民館 10:00～11:00
 大額(株)三重工場 11:30～13:00
 東長島公民館 14:30～16:30

献血にご協力いただける方

- ・18歳～69歳の方(65歳以上の方は60～64歳の間に献血経験がある方)
- ・体重が男女とも50kg以上の方
- ★皆様のご協力をお願いします。

6月に実施した3歳6か月児健診でむし歯がなかつたお子さんを紹介します。

☆受診人数:14人 ☆むし歯がなかつたお子さん:10人(71%)

和手啓敏	岡蒼太	武岡琉太	水谷魁利	濱田彰人	竹谷把空	世古琢磨	杉田雄飛	山本莉夢	脇あかねちゃん
くん	くん	くん	くん	くん	くん	くん	くん	ちゃん	ちゃん

こころの健康相談

9月26日(月)老人福祉センター

【時間】10:00～11:30
【対象者】こころの健康に関する悩みや精神的な病気に関する悩みを持つ方、ご家族の方
【申し込み】9/21(水)までに老人福祉センターへお申し込みください。Tel.32-3912

1歳6か月児健康診査

9月8日(木)東長島公民館

【対象者】H22.1.15～H22.3.8生まれのお子さん
 ★対象者には、通知書を郵送します。通知書が届かない方はご連絡ください。
【問い合わせ】老人福祉センター(Tel.32-3912)



赤ちゃん相談&おやこ広場

9月12日(月)老人福祉センター
9月21日(水)保健センター

【時間】10:00～11:30
【持ち物】母子健康手帳



おやこサークル

たんぽぽ

【日程】9/6、13、20、27(※毎週火曜日)
【場所】老人福祉センターにお問い合わせください(Tel.32-3912)
 時間は10:00～11:30です

プチ・キッズ

【日程】9/7、14、28(※毎週水曜日)
【場所】保健センター(Tel.47-4750)
 時間は10:00～11:30です

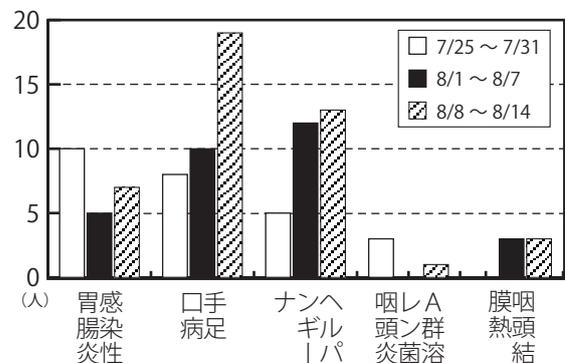
★親子で一緒に遊んだり、お母さん同士話をしたりしています。
 お気軽にお越しください。



感染症情報(7月25日～8月14日分)

紀北地区の感染症の動向をお知らせします。

※詳しくは「三重県感染症情報センター」のホームページ(<http://www.kenkou.pref.mie.jp/kansenmenu.htm>)をご覧ください。



9月のおしらせ

全国一斉「高齢者・障害者の人権あらしん相談」強化週間

平成22年中に法務省の人権擁護機関が新規に救済手続きを開始した人権侵犯事件数は21,696件で、このうち最も多いのは暴行・虐待事案で4,788件でした。女性、児童、高齢者、障害者を被害者とする割合は、その87.2%の4,177件で、前年度比0.4%減となっています。

また、高齢者施設、知的障害者更生施設等の社会福祉施設での人権侵犯事件数は193件で、前年比26.1%増となっています。

普通救命講習

日時：9月9日（金）午後1時～4時
場所：老人福祉センター
※詳しくはお問い合わせください。
Tel 32-0004（海山消防署）

精神保健福祉相談

日時：9月26日（月）
場所：老人福祉センター
※事前予約が必要です。老人福祉センターまでご連絡ください。
Tel 32-3912

このような人権問題の解決を図るための取り組み強化を目的として、左記日程で強化週間を実施します。

期間 9月5日（月）

～11日（日）

時間 午前8時30分

～午後7時

※土・日曜日は午前10時

～午後5時

電話相談

Tel 0570（003）110

問い合わせ

津地方務局人権擁護課

Tel 059（228）4193

東日本大震災に伴う未払賃金の立替払事業の認定申請期限について

東日本大震災のため、事業場の事業活動が停止になり、賃金が未払いのまま退職を余儀なくされた労働者に、一定の範囲で事業主に代わって未払賃金を支払う制度の認定申請の期限が9月11日（日）までです。

問い合わせ

三重労働局労働基準部監督課
Tel 059（226）2106

警察安全相談の日

警察総合相談電話 #9110

9月11日は警察安全相談の日です。警察は、犯罪等による犯罪の未然防止に関する相談、その他皆さんの安全と平穩についての相談を受けています。

不急の相談が緊急通報用電話である「110番」に寄せられることは、事件事故等の緊急の通報に対する警察の対応を遅らせ、結果として人の生命、身体の保護に支障を生じさせるおそれがあります。

緊急の事件事故以外の相談については「110番」ではなく「#9110」等を利用してください。

問い合わせ

尾鷲警察署警察安全相談係
Tel（25）0110
各交番・駐在所

災害医療を考える

災害医療講演会開催のおしらせ

日時 9月10日（土）

午後7時～

場所 海山公民館

参加費 無料

内容

第1部 基調講演

（石巻赤十字病院 外科部長 石井正先生）

第2部 シンポジウム

（尾鷲市長・紀北町長・紀北医師会副会長・尾鷲総合病院院長・三重紀北消防組合消防長・石巻赤十字病院外科部長・尾鷲総合病院院外科部長・尾鷲保健所健康増進課長・尾鷲保健所長）

問い合わせ

三重県尾鷲保健福祉事務所福祉相談室

Tel（23）3446

終戦当時、引揚者の方々からお預かりした通貨・証券等を返還しています。

名古屋税関では、終戦後に外地より引き揚げてきた方々が、税関等に預けた通貨や証券等をお返ししておりますが、今なお引き取り手がなく、保管されたままになっているものが多数あります。

返還請求・お問い合わせは、ご本人はもとよりご家族の方でも構いません。お心当たりの方は、お気軽にお問い合わせください。

返還している通貨・証券等

●上陸地の税関または海運局に預けられた通貨・証券等
●帰国前に在外公館や日本人自治会等に預けられた通貨・証券等のうち、その後日本に返還されたもの
通貨：旧日本銀行券、旧日本軍軍票等
証券等：支那事変割引国庫債券、大東亜戦争割引国庫債券等

問い合わせ

財務省名古屋税関監視部監視許可通関部門
Tel 052（654）4060

四日市税関支署尾鷲出張所
Tel（22）1385

無料法律相談

(予約制)

弁護士による無料法律相談を次のとおり開催します。

土地・相続問題や事故・損害等についてのご相談をお受けします。

なお、秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

日程	時間	場所
9月9日(金)	午後1時30分 ～4時	老人福祉センター (海山区)
9月26日(月)	午後1時30分 ～4時	社会福祉会館 (紀伊長島区)

※相談を希望される方は各会場定員10名です。前日までに本庁住民課住民係まで予約のご連絡をお願いします。

※当事者間に係争がある場合、公平性を保つため、双方からのご相談は受けかねますので、ご了承ください。

お問い合わせ

本庁住民課住民係
TEL(32) 3907

行政・人権相談

行政・人権相談を次のとおり開催します。

行政に対してのご意見や、家庭や学校、地域社会等での人権問題についてのご相談をお受けします。

日程	時間	場所
10月4日(火)	午前10時 ～正午	老人福祉センター (海山区)
10月4日(火)	午後1時30分 ～3時30分	社会福祉会館 (紀伊長島区)

※秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ

本庁住民課住民係
TEL(32) 3907

全国一律 司法書士無料相談

日時 10月1日(土)

午前10時～午後3時

場所 尾鷲市中央公民館

相談内容 相続・贈与・売買等の登記、担保権の設定・抹消等の登記、会社・組合等の法人の登記、簡易裁判所の訴訟・民事調停手続き、お金の

貸し借りに関する問題、その他裁判所への提出書類作成

自己破産・調停・個人再生手続き、法律扶助の方法

※10月1日(土)～7日(金)

の間は、各司法書士事務所でも無料で相談に応じています。

お問い合わせ

三重県司法書士会紀州支部
TEL(47) 0098

10月1日～7日は 公証週間

大切な契約や遺言は公証役場で

契約書や遺言書等、大切な書類は、「公正証書」にして

おきましょう。公正証書には、法律によっていろいろな力が

認められており、紛失したり、

知らないうちに書き換えられたりする心配ありません。

公正証書についての相談は

無料です。また、その内容を他人に知られることは、絶対にありません。

お問い合わせ

松阪公証人合同役場
TEL 0598 (23) 7883

獣害防護柵等を設置される方にお知らせ

サル、イノシシ、シカ等による農作物被害を防止するため、被害防止効果が十分期待できる電気柵等(トタン、網、板等を含む)を設置する方に対して、次の条件を満たす場合に、予算の範囲内で資材購入費の2分の1以内を補助します。

条件

- ・設置場所が町内であること
- ・設置対象地の耕作面積が100㎡以上あること
- ・平成23年4月1日以降の購入資材であること

補助金限度額

水稲及び柑橘、野菜 10万円

手続き方法

①電気柵等の補助を受けようとする方は、事業費等を記載した事業計画書を提出してください。(4月1日から計画書を受付し、受付順に、予算の範囲内において補助金の内示を行います。)

②事業計画書の提出後、補助金交付申請書に領収書(購入資材の明細がわかるもの)、

位置図、写真(設置前と設置後)等を添えて、10月末日ま

で申請してください。

※予算の都合上、交付できない場合があります。

※補助金申請は1年度に1回限りとします。

※事業計画書、補助金交付申請書の用紙は本庁農林水産課または紀伊長島総合支所産業建設室内にあります。

お問い合わせ
本庁農林水産課農政係
TEL(32) 3916
紀伊長島総合支所産業建設室
産業振興係
TEL(47) 1111



広報

きほく

2011.9
No.71

(平成23年8月1日現在)
■人口：18,792人
■男：8,901人/女：9,891人

■世帯数：8,639世帯

編集・発行
紀北町企画課

〒519-3492

三重県北牟婁郡紀北町海山区相賀 495番地 8
TEL 0597 (32) 3903 FAX 0597 (32) 2331
http://www.town.mie-kihoku.lg.jp/ E-mail kikaku@town.mie-kihoku.lg.jp

さわやか

満1歳 笑顔

「さわやか笑顔」のコーナーに掲載希望の方は、誕生月の前月の10日までに本庁企画課広報係までお申し込みください。



あおい
久保 葵ちゃん
平成22年9月10日
にぱっと笑顔にみんながいちころ。
葵ちゃん1歳おめでとう
<東長島>有謙・あずささん



西田 ひなたちゃん
平成22年9月27日
楽しい毎日をありがとう♡
<大原>亮祐・祐子さん

けんと
柳田 健登くん
平成22年9月11日
元気に大きく育ちました。
<東長島>哲宏・真紀さん



れいな
谷 玲那ちゃん
平成22年9月21日
食べるのが大好きな女の子。
でも今日は、澄まし顔♡
<島原>善喜・ジェニーさん



8/5~6 紀北自然体験事業 2011



8月5日と6日の2日間、紀北町と友好都市提携を結んでいる大阪府四條畷市の小学校5・6年生児童19人が紀北町を訪れました。
5日は和具の浜でシュノーケリングを体験し、海中のいろいろな生き物を観察しました。夜にはかんからこぼし座による影絵を楽しみ、6日は高塚山展望台や豊浦海岸、神社などを散策し、午後には古里の民宿でところてん作りも体験しました。
2日間紀北町の自然を満喫し、夏の思い出をつくりました。